



はしもと図書館報 Hi! 第93号

Hi! Vol. 93

発行: 相模原市立橋本図書館
電話: 042(770)6600 FAX: 042(770)6601

ホームページ



フェイスブック



X (エックス)

今年のNHK大河ドラマは「豊臣兄弟!」

特集「きょうだい」の本

兄と弟の強い絆が注目されている大河ドラマ「豊臣兄弟!」。
橋本図書館には「きょうだい」をテーマにした作品も、「きょうだい」それぞれが
著名な方の作品も棚に並んでいます。その中から一部、ご紹介します。

289.1 ハシバ

『羽柴秀長 秀吉の天下を支えた弟』
柴 裕之／著 KADOKAWA 2025



LC933.6

『「若草物語」のルイザのヨーロッパ旅物語』
ルイザ・メイ・オルコット／著
谷口 由美子／構成・訳 悠書館 2024



BF

『弟』 石原 慎太郎／著
幻冬舎 1999

326.23

『姉と弟 捏造の闇「袴田事件」の58年』
藤原 聡／著 岩波書店 2024

本の寄贈お待ちしております

読み終えた本を橋本図書館に寄贈しませんか?
皆さまからの本の寄贈をお待ちしております。
雑誌やまんが、破損や汚れがある本、出版から年数が
経っている本など、一部寄贈をお受けできないものも
ありますが、ご希望の方はご連絡ください。



※寄贈本をお持ちいただいた際はお手数
ですがスタッフにお声がけください。
※ご寄贈いただいた本の扱いは図書館に
一任とさせていただきます。

↑詳しくはこちらから(図書館HPにつながります。)

1月～3月の展示や動画配信など

図書館ホームページ、フェイスブック、
X(エックス)、ユーチューブまたは、
館内ポスターをご覧ください♪



相模原市は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

イベント報告&お知らせ

💡 報告「ゆるっと講座」



10月17日(金)

6回目となるゆるっと講座は「大人だっておはなし会&おしゃべりタイム」を開催しました。おはなし会では絵本、すばなし、紙しばいを楽しんでいただきました。その後の座談会(おしゃべりタイム)では参加者の方々と昔と今を比べながら作品の違いや各々の思いなどを語り合い、充実した時間を共有することができました。

💡 報告「図書館たんけん隊」



10月19日(日)

図書館たんけん隊(ガイドツアー)を行いました。保護者の方を含め7人のご参加でした。こどものほんのコーナーでは大型のしかけ絵本や、壁面に展示されている松橋利光さんの写真展も紹介しました。書庫への潜入は皆さん驚きながらも楽しく体験していただけたようです。次回のガイドツアーもご参加をお待ちしています!

💡 報告「おはなし会とブックトーク」



11月9日(日)

秋のおはなし会とブックトーク「おいしい秋みつけた!」を開催しました。2・3歳向けは16名、4歳以上向けは13名の参加があり、テーマに合わせた絵本や手遊び、ペープサート、最後にブックトークで本の紹介を行いました。おいそような食べ物が出るたびに、子どもたちの歓声が上がりました。



イベント予告



- | | |
|-----------------|------------|
| ➡ 行政書士講座 終活セミナー | 1 / 31 (土) |
| ➡ 市立博物館連携講座 | 2 / 7 (土) |
| ➡ 春の大きなおはなし会 | 3 / 27 (金) |

*開催時期が近づきましたらご案内いたします。詳しくは館内の掲示、ホームページをご覧ください。



スタッフおススメ本



288.12

『名前とは何か なぜ羽柴筑前守は筑前と関係がないのか』

小谷野 敦／著 青土社 2011

清少納言が仕えた中宮「定子」の読み方は「ていし」でよいのか。豊臣秀吉の側室茶々の呼び名は「淀君」か「淀殿」か。「滝沢馬琴」という名前は正しいのか。などなど、タイトルにある「筑前守」のような「武家官位」から、歴史上の人物や外国人の名前について、はたまた「夫婦別姓」や「匿名」について、博覧強記な著者が名前に関するあれこれをエッセイ風に書いています。大河ドラマや時代劇が好きな方におススメです。



HE490.14

『大切な人を亡くした人の気持ちがわかる本』

高橋 聡美／著 法研 2022

親しい人が大切にしている方を亡くした時、どんな言葉を掛けたいのか迷うことがあります。また、自分が当事者になって初めて気づく思いもあるでしょう。喪失体験にともない生まれてくる感情をグリーフ（悲嘆）と言いますが、その気持ちを理解して寄り添うグリーフケアについて書かれた本です。「100人いれば100通りの悲しみ方がある」「子どもだって真実を知りたい。子どもの目線できちんと伝え、支える」という言葉にはっとさせられます。いつか必要だと感じた際に、きっと助けになってくれる一冊です。



GA627.8 茶

『小さな盆栽づくり』

関野 正／指導 松井 孝／監修 主婦の友社 2015

盆栽というとハードルが高くて敬遠されがちですが、小さな盆栽は場所を取らず、机の上などで育てられ、お手入れも簡単なので、手軽に始めやすいそうです。限られた空間での枝ぶりや葉の配置を、工夫してみせる小さな世界を作る楽しさは格別です。本書は、管理の基礎から樹形づくりまでを豊富な写真で、初めての方にも分かりやすく解説しています。今から挑戦して、来年のお正月に成長した小さな盆栽を飾るのも素敵だと思います。



361.454

『よけいなひと言を好かれるセリフに変える言いかえ図鑑』

大野 萌子／著 サンマーク出版 2020

人間関係を築く上で、会話は重要な要素です。この本は、つい言ってしまいがちな言葉を言い換えるだけで、穏やかな気持ちで会話が進むことにあらためて気づかせてくれます。見開き形式で、言い換え言葉と豆知識や説明が書かれており、言い換えるコツが楽しく理解できます。言い換え言葉という「相手への優しいまなざし・思いやり」が、自分自身の好感度アップにもつながるものです。すぐにも使える言葉満載なので、自分自身の会話を振り返りながら、早速使ってみるのもいいですね。

音と映像のコーナーよりお知らせ

CD試聴機とDVD視聴機が新しくなりました。
ひきつづき、皆さまのご利用をお待ちしています！



1月からの音と映像のコーナーの展示は
『LIVE (ライブ) 日和 (びより) 』です。
ライブ録音やコンサート録音のCDを集めました。
是非お立ち寄りください。



しろくまさんのぶらぶらいこっ

今回ご紹介するのは、人気のお料理教室をされている料理家が各国を旅して見つけた「おいしい!」を形にした本です。

旅の楽しみの一つに、その土地のおいしいものを食べることがありますが、家で同じように作ってみようと思ってもなかなか難しいです。著者は日本で手に入りやすい調味料や食材を使い、あの時の味が再現できるレシピを考え出しました。

メニューは和食、イタリアン、エスニックなど多岐にわたっています。意外な組み合わせの「柿とモツツアレラの白みそあえ」、いったいどんな料理なのか興味津々な「謎のマッシュポテト」など、どのレシピも手順がわかりやすく、味が決まるように工夫されています。



寒い日が続いていますが、おうちで旅気分を味わってみませんか。



LI596赤

『ライクライクキッチンの旅する味』

小堀 紀代美／著 主婦の友社 2021

